

2025年度 南房総市の住民満足度および観光に関する 市民アンケート 結果報告書

主催：（一社）南房総市観光協会
協力：南房総市

アンケート実施期間：令和8年2月1日～令和8年2月28日
回答数：123

報告日：2026/3/25

本アンケートの説明

1. 調査の目的

南房総市の住民満足度、および観光に関する住民の意識を調査すること。

2. 回答者

南房総市に居住している、または南房総市で働いている、あるいはその両方に該当する人。

3. 回答期間

2026/2/1～2026/2/28

4. 回答方法

南房総市観光協会公式サイトに設置されたWebページから回答

5. 回答者数

123人

本報告書の説明

1. 選択肢集計にて

①回答者プロフィール、②住民としての満足度、③観光による影響、④観光に対する取り組みの認知、⑤観光客との接点、⑥域外へ伝えたい南房総市の魅力、⑦観光をきっかけとしたまちづくりへの関心を聞きました。

2. 自由記入欄にて

観光客にもっと喜んでもらうためのアイデア、伝統行事や文化の継承についてのアイデア、観光施策に対する評価、その他(自由記入)を聞きました。

3. 本報告書について

上記1、2について、総数および自由記入の意見を集計しました。
最終ページに選択肢集計の総数を掲載しました。

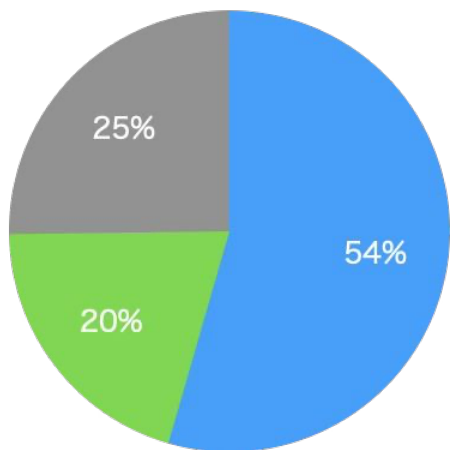
設問と回答形式

No.	質問	必須	回答形式
Q1	南房総市の観光は重要だと思いますか		単一選択
Q2	南房総市観光協会が、観光まちづくりにおいて「司令塔」の役割を担う「地域DMO」に登録されたことを知っていますか？		単一選択
Q3	南房総市や観光協会の具体的な実施事項を知っていますか		単一選択
Q4	南房総市の魅力を域外の人に伝えたいですか		単一選択
Q5	南房総市の魅力のうち、域外の人に勧めたいと思うものは何ですか		複数回答+自由記入
Q6	過去一年でどのくらい日本人観光客と関わる機会がありましたか		単一選択
Q7	過去一年でどのくらい外国人観光客と関わる機会がありましたか		単一選択
Q8	観光客に何をしたら喜ばれましたか		複数回答+自由記入
Q9	観光客が増えることで、あなたの暮らしに良い影響が出ていると思いますか		単一選択
Q10	「観光」はあなたにとって、どのような良い影響がありますか		複数回答+自由記入
Q11	「観光」はあなたにとって、どのような悪い影響がありますか		複数回答+自由記入
Q12	観光客にこうしたらもっと喜んでもらえると思う案がありますか		自由記入
Q13	人口減少、高齢社会を迎えるにあたり、これまでの祭りなどの伝統行事、文化伝承が10年後もできると思いますか		単一選択
Q14	伝統行事、文化伝承が必要だと思う方は実現するにあたって具体的な案があれば教えてください		自由記入
Q15	地域が持続可能な状況を作るためには若者の人口を増やすことが重要かと思います。地元の若者が都心に出たのち、Uターンを実現するために必要なことは何だと思いますか		複数回答+自由記入
Q16	南房総市では「南房総市観光協会DMO」を中心に、環境面・経済面はもちろん、社会的・文化的な観点で「持続可能な観光地づくり」に取り組み、住民の生活の質の向上を目指しています。現在の南房総市は「持続可能な観光地」として満足 of いくものですか？		単一選択
Q17	南房総市の観光施策について評価できる点は何か、ご意見があればご記入ください		自由記入
Q18	南房総市の観光施策について評価できない点は何か、ご意見があればご記入ください		自由記入
Q19	上記の自由記入以外にご意見があればお聞かせください		自由記入
Q20	南房総市や観光協会が主催する、観光に関するワークショップやセミナーに参加したいですか		単一選択
Q21	あなたの性別を教えてください		単一選択
Q22	あなたの年代を教えてください		単一選択
Q23	南房総市に住んでいる・働いている・両方		単一選択
Q24	いつから住んで・または働いていますか		単一選択
Q25	あなたの主たる職業を教えてください		単一選択
Q26	現在南房総に住むこと、または仕事をすることに、満足していますか	○	単一選択
Q27	今後も南房総に住み続けたい、または仕事を続けたいですか	○	単一選択

①回答者プロフィール（関わり、性別、年齢）

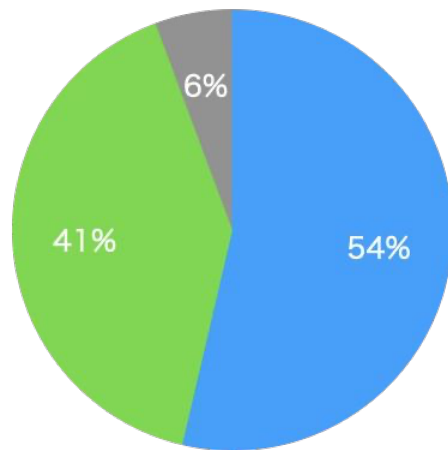
南房総市に

● 住んでいる ● 働いている ● 両方

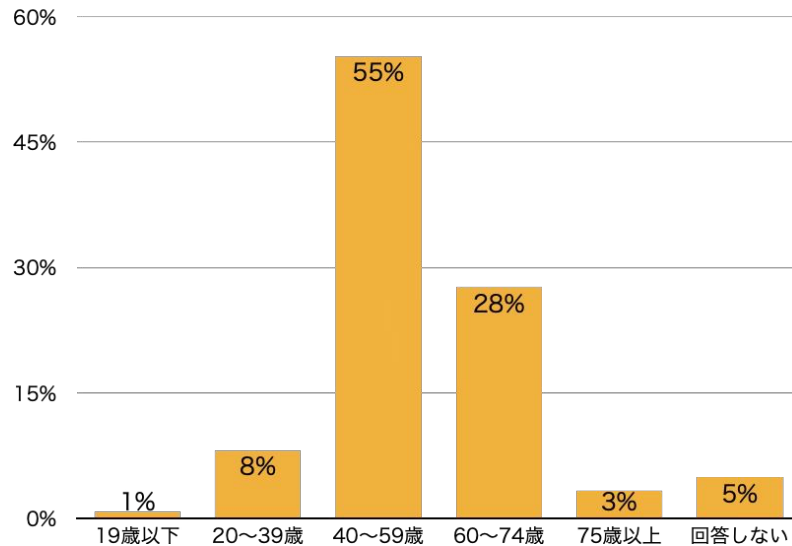


性別

● 男性 ● 女性 ● 回答しない

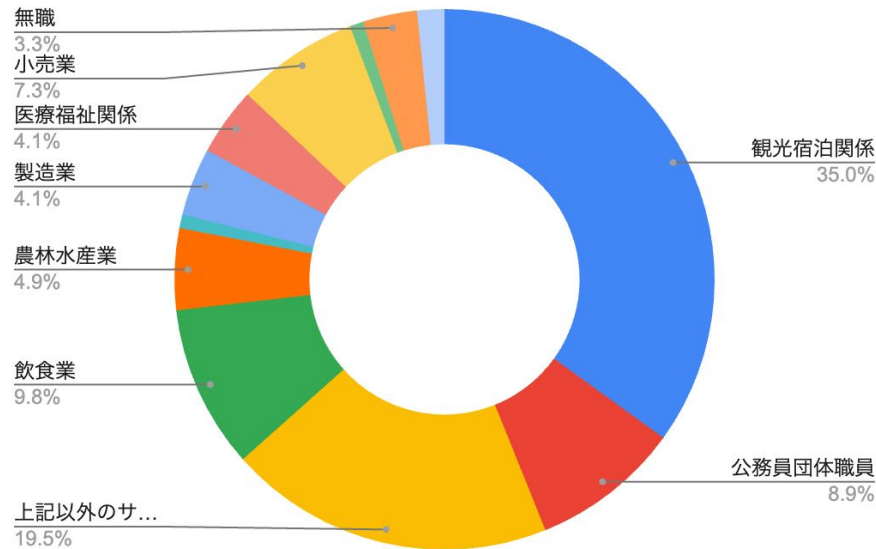
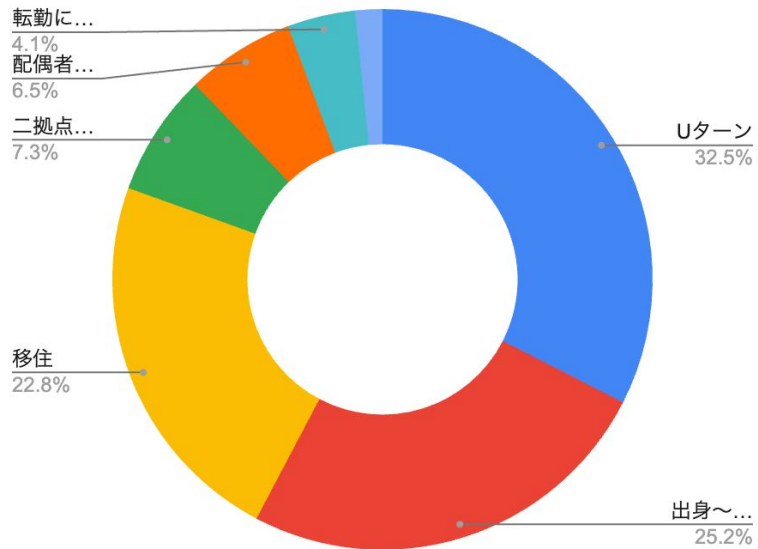


年代



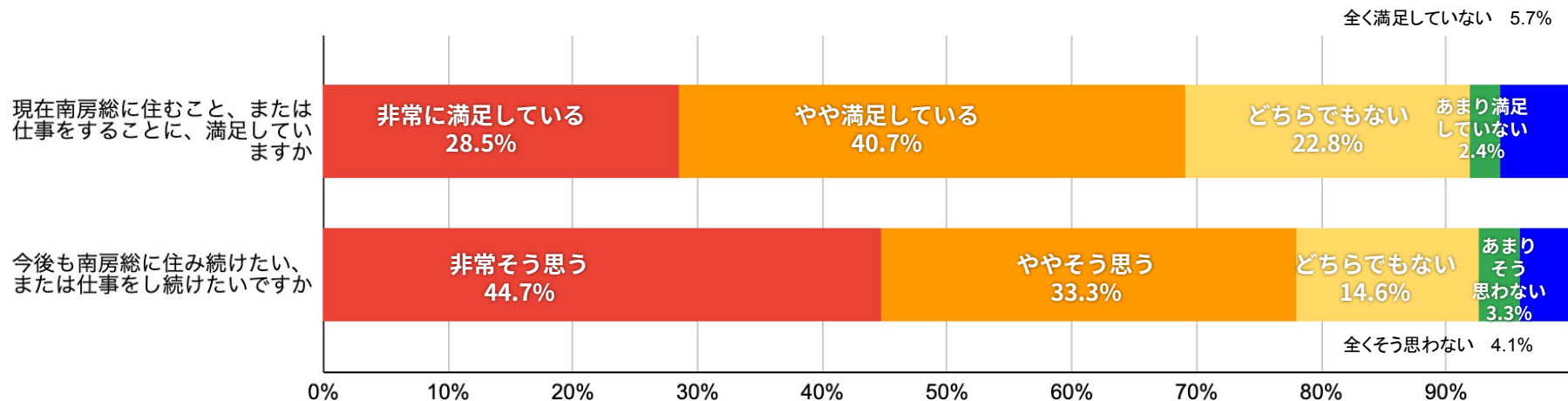
- 回答者の年齢層は40・50代が最も多く、次いで60～75となった。
- 男女比については極端に偏りはなかった。

①回答者プロフィール（居住期間、職業）



- 回答者は観光関連が35%、公務員団体職員は8.9%、それ以外が55.4%だった。
- 出身〜ずっと、及びUターンを合計すると58%程度となり、地元と移住者のバランスは良い方だと思う。

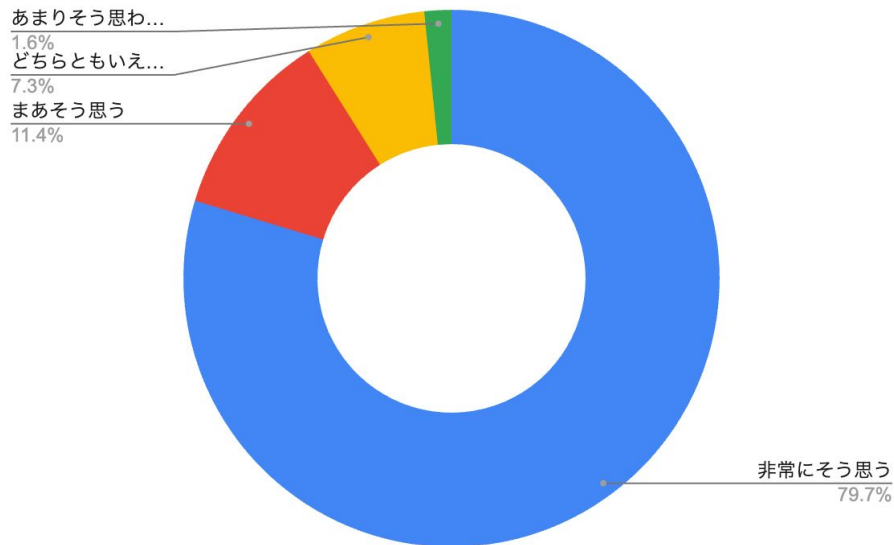
②住民満足度（住みやすさ、住み続けたさ）



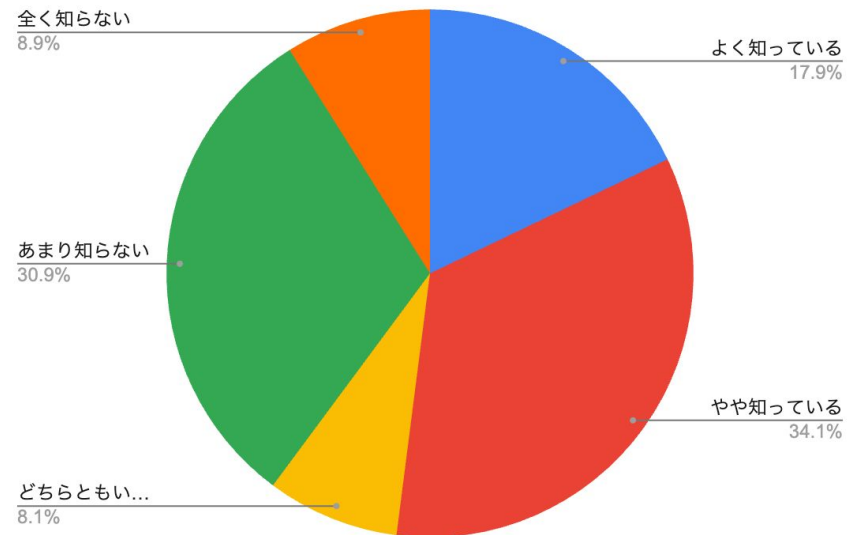
- 住むことあるいは仕事をするにについて「非常に満足している」と「やや満足している」の合計を好意的な意見とすると、好意的な意見の合計は69.2%だった。好意的だったのは前々年度は61.8%、前年度は69.5%、今年度は69.2%となり、比率が上がる傾向で推移している。
- 住むことあるいは仕事をするにについて「あまり満足していない」と「全く満足していない」の合計を否定的な意見とすると、合計は8.1%で1割未満（10人）だった。否定的だったのは前々年度は13.7%、前年度は10.6%、今年度は8.1%であり、否定的な比率は下がる傾向で推移している。
- 今後も住み続けたいかについては、好意的の前々年度は71.8%、前年度は70.6%、今年度は78%で上昇傾向にある。
- 今後も住み続けたいかについては、否定的が前々年度は7.6%、前年度は6.6%、今年度は7.4%で同程度で推移した。
- 現在・今後についておよそ7割が好意的であることから、総合的に住みやすい・住み続けたい地域であることがいえる。

③観光に対する取り組みの認知と評価（重要性、実施事項）

南房総市の観光は重要だと思いますか



南房総市や観光協会の具体的な実施事項を知っていますか

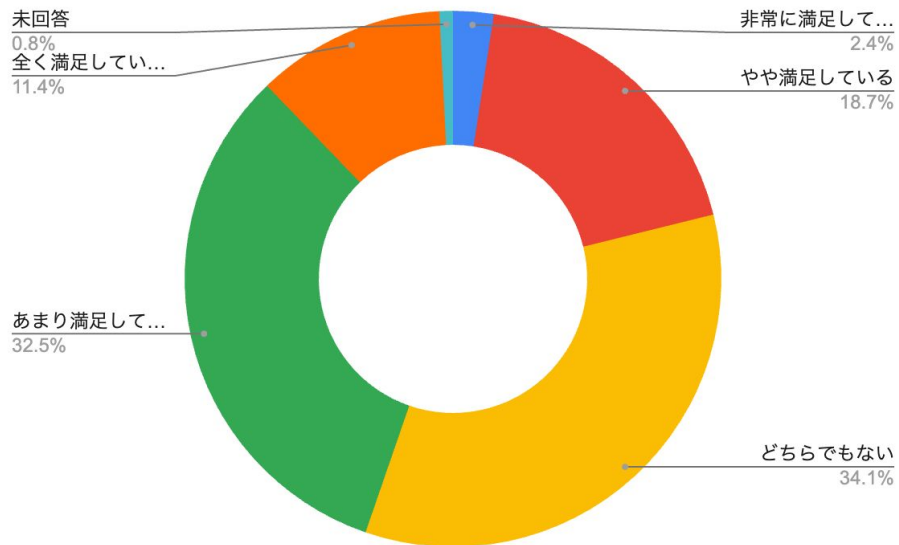
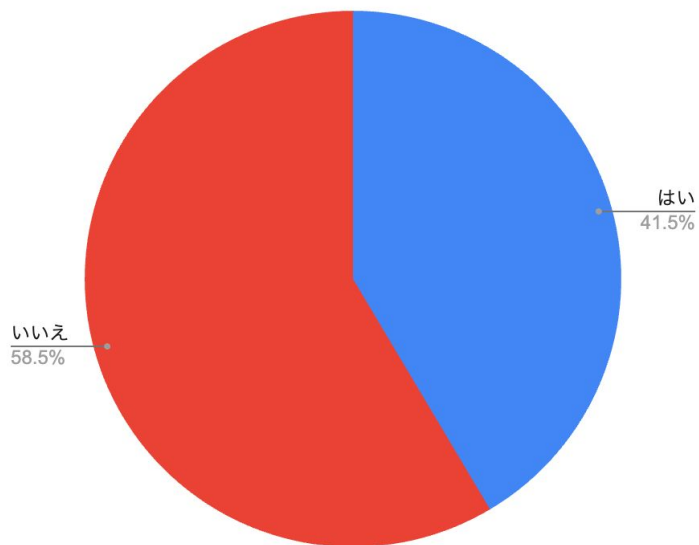


- 回答者の91%以上が観光が重要であるという認識を持っていた。前年度と同じ値となった。
- そう思わないという回答はゼロだったが、あまりそう思わないは少数で、123人中2名が回答した。
- 一方、自治体と観光協会の具体的な実施項目については、「よく知っている」と「やや知っている」の合計「知っている」が52%であった。「知っている」は前年度は37.1%だったため、上昇した。

③観光に対する取り組みの認知と評価（DMOについて）

南房総市観光協会が、観光まちづくりにおいて「司令塔」の役割を担う「地域DMO」に登録されたことを知っていますか？

南房総市では「南房総市観光協会DMO」を中心に、環境面・経済面はもちろん、社会的・文化的観点で「持続可能な観光地づくり」に取り組み、住民の生活の質の向上を目指しています。現在の南房総市は「持続可能な観光地」として満足いくものですか？



- DMOに登録されたことを知っているのは、前年度は39.6%であり多少上昇した。
- 現在の南房総市が持続可能な観光地として満足いくものかは、「非常に満足している」と「やや満足している」の合計を肯定的とすると、21.1%だった。

③観光に対する取り組みの認知と評価（市の観光施策について評価できる点）

（自由回答、全文別途）

【40～59歳】

- ・道の駅や食、自然など既存資源の活用
- ・イベントや地域連携（スポーツ大会、朝市、事業者連携）
- ・情報発信（WEB・SNS）
- ・市民参加型やDMOなど仕組みづくり
- ・観光施策の見える化・市民への共有

【60～74歳】

- ・イベント開催や花畑再生
- ・PR活動（ラジオ・マスコミ）
- ・アクセスの良さや自然資源活用
- ・観光協会など運営側の対応

【75歳以上】

- ・情報発信

- 自由回答形式により、28人が評価できることを回答した。
- 年代別に主な意見をまとめたところ、観光資源を生かしていること、情報発信やマスコミへのPRが多く挙げられた。

③観光に対する取り組みの認知と評価（市の観光施策について評価できない点）

（自由回答、全文別途）

【20～39歳】

- ・釣り場の制限・管理方針への不満
- ・観光施策の周知不足
- ・地域全体での統一方針の不足
- ・事業者間の連携不足
- ・若年層の意見反映不足
- ・情報発信力の弱さ

【40～59歳】

- ・情報発信不足・施策の見えにくさ
- ・市民への周知不足・参加機会の不足
- ・景観整備不足（街並み・花畑・トイレ等）
- ・マーケティング・戦略性の不足
- ・若年層・来訪者向けの魅力不足
- ・事業者や地域間の連携不足
- ・行政の積極性・熱意不足
- ・交通インフラ・駐車場整備の遅れ
- ・拠点施設や滞在型施設の不足
- ・広域連携やエリア戦略の不十分さ

【60～74歳】

- ・情報発信・PRの弱さ
- ・施策間の連携不足・全体戦略の欠如
- ・交通利便性の不足
- ・雨天時・滞在型施設の不足
- ・地域資源の活用不足（海・文化資産等）
- ・目玉となる観光資源の不足
- ・行政運営（人材・体制・トップダウン）の課題
- ・景観整備や環境維持の不足

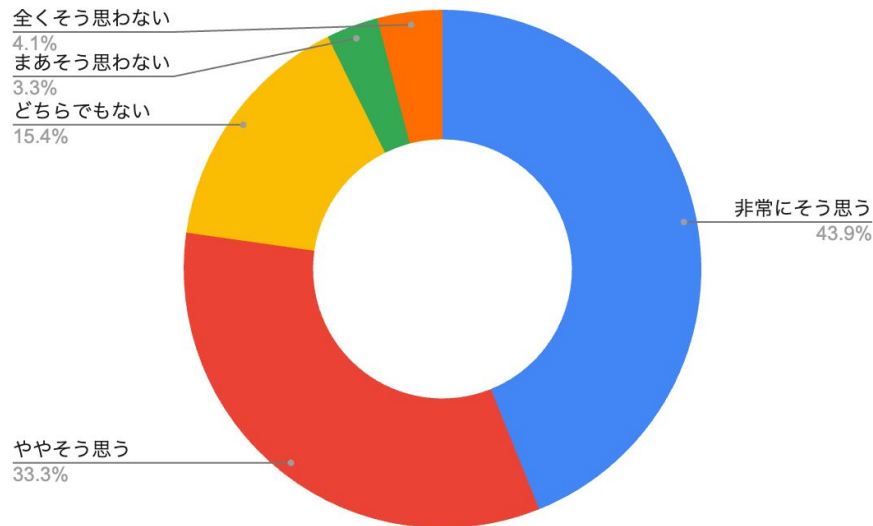
【75歳以上】

- ・施策の継続性不足
- ・発展性の停滞
- ・文化施設等のPR不足

- 自由回答形式により、58人が評価できないことを回答した。
- 年代別に主な意見をまとめたところ、そもそも施策が分からないことを含め、情報発信の不足が最も多く挙げられた。

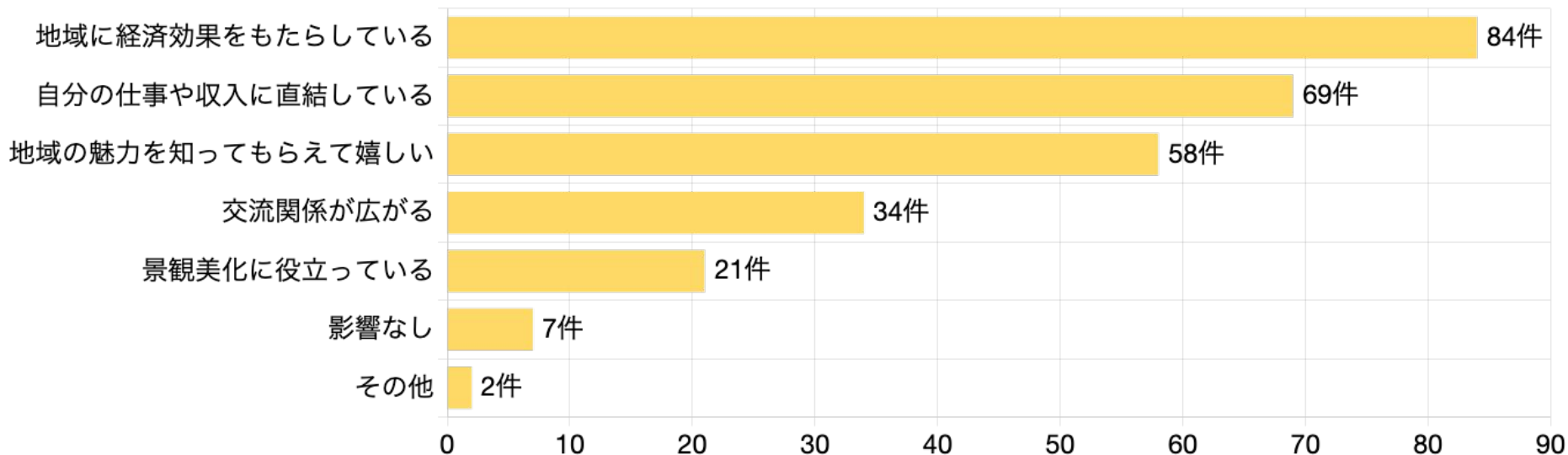
④観光の影響（自分の暮らしへの影響）

観光客が増えることで、あなたの暮らしに良い影響が出ていると思いますか



- 観光客が増えると暮らしに良い影響が出るかについて、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計を好意的な意見とすると、好意的な意見の合計は77.2%だった。前年度は63.4%、今年度は77.2%となり、比率が上がる傾向で推移している。
- 観光客が増えると暮らしに良い影響が出るかについて、「まあそう思わない」と「全くそう思わない」の合計を否定的な意見とすると、合計は7.4%だった。否定的だったのは前年度は8.7%、今年度は7.4%であり、否定的な比率は下がる傾向で推移している。

④観光の影響（良い影響） （複数回答）

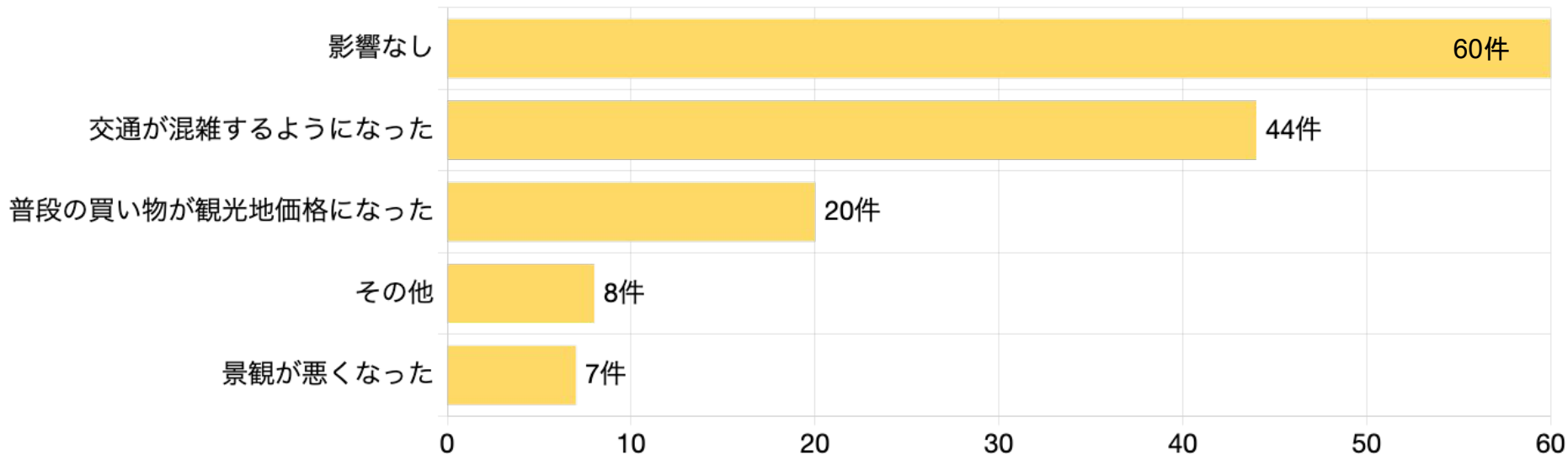


【その他の回答】

内容にも寄るが、地域住民にとっての刺激にもつながり得る活気が出る

- 複数選択可能な回答形式により、全体で275件が回答された。
- 地域や自分への経済効果を挙げるケースが最も多かった。
- シビックプライドや交流関係の広がりといった精神的な満足が経済効果に続いた。

④ 観光の影響（悪い影響） （複数回答）

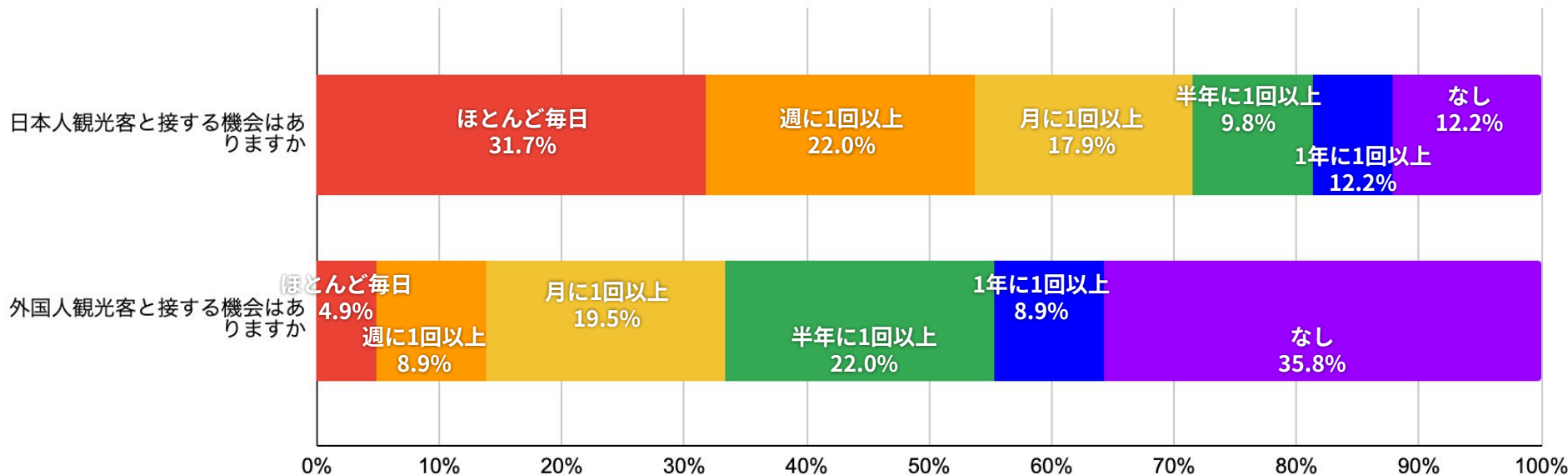


【その他の回答】

観光客由来のゴミのポイ捨てやマナーに関するもの
駐車場問題
個人としては影響ないが、飲食店も高くなった
いろいろな人が来るので対応に苦慮することもある
域内よりもアクアライン渋滞

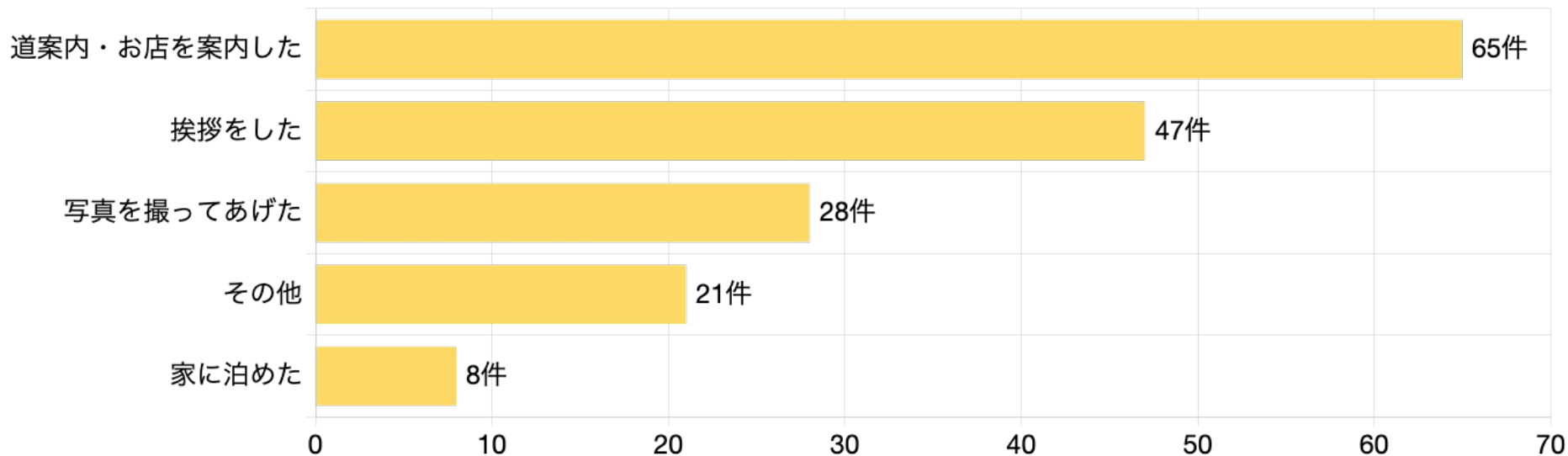
- 複数選択可能な回答形式により、全体で139件が回答された。良い影響は275件があげられたのに対して半数程度であった。
- 回答者総数は123人であって、影響がないという回答が60件だったことから、回答者のおよそ半数は悪い影響がないと捉えている。
- 主な悪い影響は、交通の混雑、買い物価格の上昇、観光客由来のゴミの問題であった。

⑤観光客と接する機会（日本人、外国人）



- 回答者プロフィールより、観光を仕事にしていると回答した人が全体の35.5%程度（本報告書6Pに記載）だったことから、観光の仕事をしていない人でも日本人観光客との接点は多少はあるというケースも見られた。
- なしと回答した人のプロフィールで目立った特徴は「住んでいる」との回答（仕事が市内ではない）だった。
- 外国人観光客と週に1回以上の接点を持っているのは13.8%で、主な回答者の特徴として挙げられたのは観光産業および飲食店だった。
- 観光宿泊関係でもなしと答えた人は一定数あった。

⑤観光客と接する機会（何をしたら喜ばれたか）



- 込み入ったサービスはその他欄に記載されたが、少数だった。
- 道案内やお店の案内、挨拶がメジャーなところなので簡単な会話ができるサービス向上の底上げにつながりそうだ。

【その他の回答】

オススメの飲食店紹介
 笑顔の接客
 丁寧な説明
 とくになし
 会話をした
 ホテル業務での関わり
 食べ物屋さんを教えた
 住まいのサブスクの物件に滞在してもらい、交流した

ワークショップ
 南房総市での生活のメリット、デメリットを話した
 自宅でBBQ
 小さいギフトを渡した
 農園を案内した
 地域の歴史や特徴を教えた
 コンビニなどで買い物の手伝いをしてあげた
 うちわ作りの体験教室

⑤観光客と接する機会（もっと喜んでもらえると思う案）

（自由回答、全文別途）

19歳以下

- ・観光客の交通マナー改善

20～39歳

- ・観光資源や楽しみ方の分かりやすい発信
- ・遊べる施設や体験型・映える観光スポットの充実
- ・夜間タクシーやライドシェアを含む二次交通の強化
- ・景観整備（海岸や自然環境の手入れ）
- ・林道整備やシャワーなど周辺設備の充実

40～59歳

- ・駐車場整備および交通利便性の向上（公共交通・二次交通）
- ・分かりやすい地図・案内板・情報発信の充実
- ・地域を代表するスポットや写真映えする場所の整備
- ・夜間営業や雨天時でも楽しめる施設の充実
- ・体験型観光や農業体験、交流機会の創出
- ・住民の暮らしやすさや地域の誇りを重視した観光施策
- ・デジタル化（キャッシュレス・予約・案内）の推進
- ・景観整備（除草、看板整理、街並みづくり）

60～74歳

- ・交通アクセスや周遊手段（バス・タクシー）の強化
- ・体験型観光（農業・漁業・文化体験）の充実
- ・ボランティアガイドや案内機能の充実
- ・隠れた観光地の発信
- ・広域で使えるクーポンなど周遊促進施策
- ・景観整備（草刈り等）

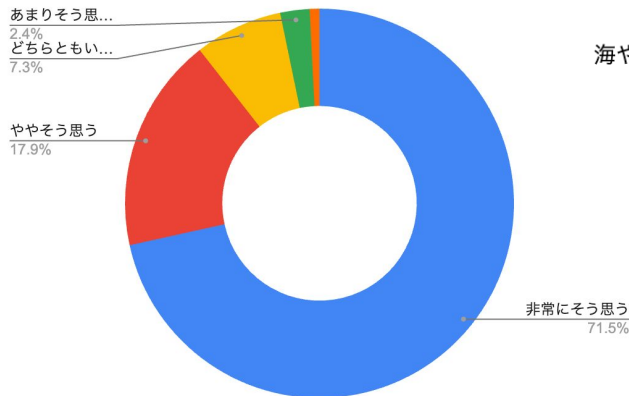
75歳以上

- ・案内表示や施設案内の充実
- ・地域資源（美術館など）の積極的なPR
- ・地元住民との交流機会の創出

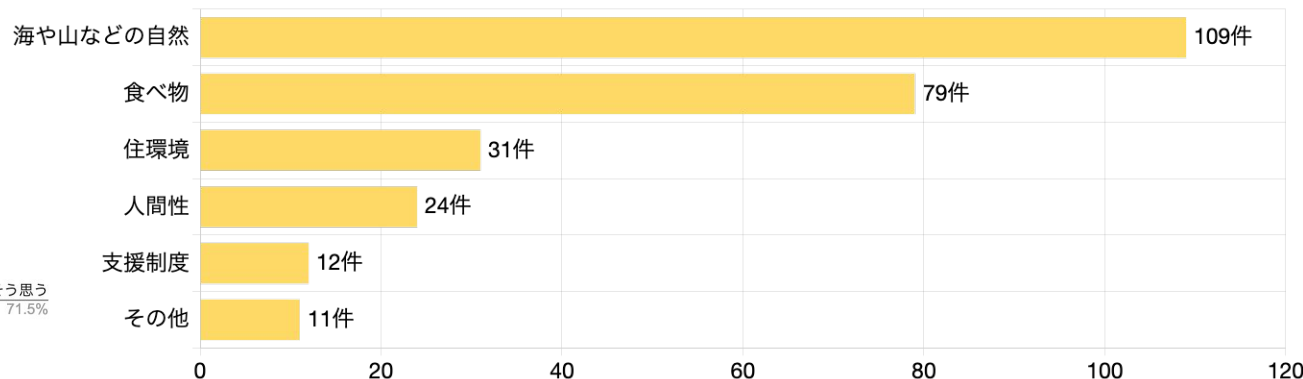
- このページでは、年代別に主な意見を集約した。全文は別途添付資料にて記載した。
- 交通利便性の向上（公共交通・二次交通・駐車場整備）・観光資源の充実と魅力づくり（体験型コンテンツ・拠点整備・映えるスポット）・案内・情報発信の強化（分かりやすい地図・観光案内・PRの充実）に関する意見が多かった。

⑥域外へ伝えたい南房総市の魅力（魅力を伝えたいか、勧めたいものは何か）

南房総市の魅力を域外の人に伝えたいですか



南房総市の魅力のうち、域外の人に勧めたいと思うものは何ですか(複数回答)



【その他の回答】

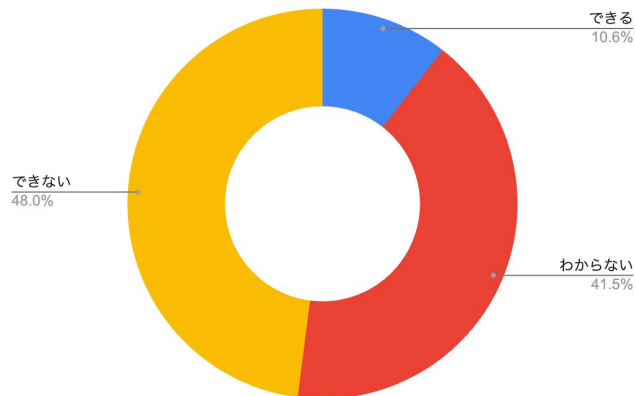
都心から、リピートできるアクセスの良さ
 首都圏へのアクセス
 白浜海洋美術館
 歴史人物の作品
 首都圏との程よい距離感
 歴史
 天の川が綺麗に見える事
 花畑
 地元にいると何が魅力なのか分からなくなるので思いつかない
 釣りや海水浴には来てほしくないマナー悪いから
 大自然の中で暮らせる幸せ
 伝統工芸品

- 南房総の魅力が域外の人に伝えたいか、については「非常にそう思う」と「ややそう思う」を足し合わせた肯定的な意見は89.4%だった。前年度は91.4%で若干下がった。
- あまりそう思わないと全くそう思わないの合計は3.2%で少数だが、思わない人はいた。ただし、全くそう思わないと回答した1名以外は、全員が域外の人に勧めたいものに回答があったので、勧めたいものはあるようだ。
- 南房総の魅力として伝えたいのは、自然、食べ物が多かった。

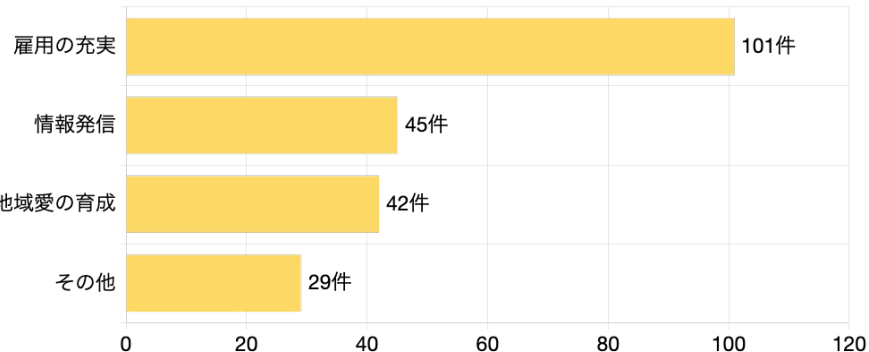
⑦観光をきっかけとしたまちづくりへの関心（文化の継承、人口増について）

人口減少、高齢社会を迎えるにあたり、これまでの祭りなどの伝統行事、文化継承が10年後もできると思いますか。

地域が持続可能な状況を作るためには若者の人口を増やすことが重要かと思います。地元の若者が都心に出たのち、Uターンを実現するために必要なことは何だと思いますか。



南房総市の充実など幼少の頃からの地域愛の育成



- 10年後の文化継承については、肯定的な意見は10.6%だった。前年は8.6%だった。
- 持続可能な地域づくりについて、複数選択可能な回答形式により、全体で217件が回答された。
- 選択肢の中からは雇用の充実といった仕事ができる環境を作ることが最も多かった。
- 情報発信、シビックプライドが同数で、仕事環境に続いた。

【その他の意見】

- ・働きたいと思える企業が必要だと思う。又専門学校や大学のキャンパスが南房総にできたら出て行く人も減ると思う。
- ・大企業の誘致。千葉県で一番、人口に対して防犯カメラが多くして安心安全な南房総市をアピールして、若年層を増やす。
- ・事業者を呼び込む支援(職の創出)
- ・Uターンを支援する、つなぎ役
- ・空き家の売買が活発に行われること
- ・市が管理する借地情報
- ・耕作放棄地や放置された不動産への高いペナルティ。地域愛という幻想である言葉の撲滅
- ・家を建てやすくしてあげる。建築法や消防法が厳しすぎる。

- ・子育て支援・子育て支援の充実
- ・子供への手厚い補助・子供の教育や育てやすい環境・子育てできる環境
- ・教育の充実・教育施設の充実
- ・助成金
- ・交通の利便性、育児支援の充実・通勤手段・交通インフラの整備・交通環境、商店、娯楽
- ・利便性/公共交通機関の充実や商業施設の充実・自慢できる観光誘致
- ・都市との関わりによる、更新性のあるまちづくり
- ・地元の人のマインドセット・価値観の変革
- ・スケートパークなど若者のための施設
- ・増やすことを考えないで地域を持続可能なシステムを考えるのが良いと思います

⑦観光をきっかけとしたまちづくりへの関心（伝統行事、文化伝承の具体的な案）

（自由回答、全文別途）

20～39歳

- ・映像やデータによる記録・保存
- ・伝統行事や文化の情報発信の強化

40～59歳

- ・若者や移住者、外部人材の参加促進
- ・人口増加や後継者確保(子ども・若年層育成)
- ・補助金や支援制度の充実
- ・行事の簡素化・見直し・選択と集中
- ・学校教育などを通じた継承
- ・地域外との連携や相互協力
- ・文化の意義・ルーツの理解と共有
- ・観光や外部参加とのバランス・仕組みづくり

60～74歳

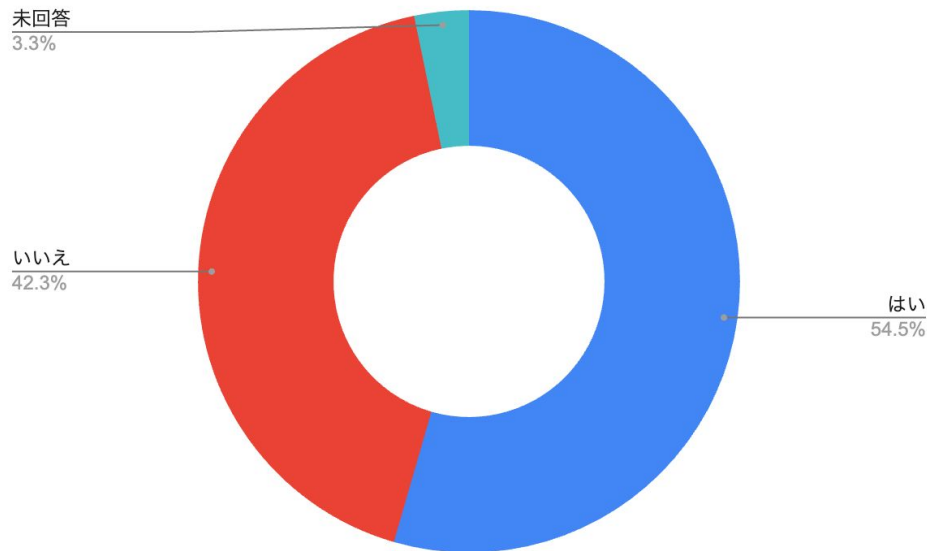
- ・若者の参加促進・Uターンの受け皿づくり
- ・移住者や観光客など外部参加の受け入れ
- ・体験型・参加型の仕組みづくり
- ・柔軟な運営(時代に合わせた変化)
- ・文化の価値や意義の再認識
- ・記録整理と後継者育成

75歳以上

- ・外部人材や観光客も含めた参加体制づくり
- ・目的や意義の明確化と合意形成
- ・他地域との協力体制の構築

- このページでは、年代別に主な意見を集約した。全文は別途添付資料にて記載した。
- 最も多かったのは担い手不足に対する「外部・若者の参加促進」だった。
- 他に文化の意義や価値を認識することも多く見られた。

⑦観光をきっかけとしたまちづくりへの関心（市や観光協会が主催する、観光に関するワークショップやセミナーに参加したいか）



- 「はい」は54.5%だった。前年度は39.1%だったので比率としては増加した。

上記以外にご意見があればお聞かせください

(自由回答、全文別途)

【40～59歳】

- ・生活利便性の低下や地域サービスの衰退
- ・選択と集中による施策推進
- ・若者の意見を取り入れる場の創出
- ・体験・交流型観光への期待
- ・目玉となる施設・テーマ性のある拠点の必要性
- ・天候に左右されない通年型施設の不足
- ・地域資源(景観・海・富士山など)の活用
- ・内房エリアのポテンシャル活用
- ・雇用と移住のマッチング強化
- ・SNS(特にInstagram)を活用した情報発信強化
- ・日帰り観光から滞在型観光への転換
- ・観光収益の地域還元の仕事みづくり
- ・宿泊税や料金制度の分かりやすい運用

【60～74歳】

- ・アンケートの活用目的の明確化
- ・観光課職員の現地理解・対応力向上
- ・移住促進と人口減少対策
- ・就労支援・ジョブコーチ制度の必要性
- ・災害リスクを踏まえた移住・二拠点の推進
- ・リピート型観光の推進
- ・内房・外房の特性を分けた情報発信

- 自由回答形式により、14人が回答した。
- 比較的長文を書いた人が多く、一人が一つの意見ではなく複数の意見を挙げている特徴があった。
- 外房と内房での違いについては複数名から挙げられた。

選択肢回答のまとめ

Q1	南房総市の観光は重要だと思いますか	非常にそう思う 98	ややそう思う 14	どちらともいえない 9	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 0	回答なし 0						
Q2	南房総市観光協会が、観光まちづくりにおいて「司令塔」の役割を担う「地域DMO」に登録されたことを知っていますか？	知っている 51	知らない 72										
Q3	南房総市や観光協会の具体的な実施事項を知っていますか	よく知っている 22	やや知っている 42	どちらともいえない 10	あまり知らない 38	全く知らない 11	回答なし 0						
Q4	南房総市の魅力を域外の人に伝えたいですか	非常にそう思う 88	ややそう思う 22	どちらともいえない 9	あまりそう思わない 3	全くそう思わない 1	回答なし 0						
Q5	南房総市の魅力のうち、域外の人に勧めたいと思うものは何ですか	海や山などの自然 109	食べ物 79	住環境 31	人間性 24	支援制度 12	その他 11						
Q6	過去一年でどのくらい日本人観光客と関わる機会がありましたか	ほとんど毎日 39	週に1回以上 27	月に1回以上 22	半年に1回以上 12	1年に1回以上 8	なし 15	回答なし 0					
Q7	過去一年でどのくらい外国人観光客と関わる機会がありましたか	ほとんど毎日 6	週に1回以上 11	月に1回以上 24	半年に1回以上 27	1年に1回以上 11	なし 44	回答なし 0					
Q8	観光客に何をしたら喜ばれましたか	道案内・お店を案内 65	挨拶をした 47	写真を撮ってあげた 28	家に泊めた 8	その他 21							
Q9	観光客が増えることで、あなたの暮らしに良い影響が出ていると思いますか	非常にそう思う 54	ややそう思う 41	どちらでもない 19	まあそう思わない 4	全くそう思わない 5	回答なし 0						
Q13	人口減少、高齢社会を迎えるにあたり、これまでの祭りなどの伝統行事、文化伝承が10年後もできると思いますか	できる 13	わからない 51	できない 59	回答なし 0								
Q15	地域が持続可能な状況を作るためには若者の人口を増やすことが重要かと思います。地元若者が都心に出たのち、Uターンを実現するために必要なことは何だと思えますか	雇用の充実 101	情報発信 45	幼少の頃から地域愛を育成 42	その他 29								
Q16	南房総市では「南房総市観光協会DMO」を中心に、環境面・経済面はもちろん、社会的・文化的な観点で「持続可能な観光地づくり」に取り組み、住民の生活の質の向上を目指しています。現在の南房総市は「持続可能な観光地」として満足しているのですか？	非常に満足している 3	やや満足している 23	どちらでもない 42	あまり満足していない 40	全く満足していない 14	回答なし 1						
Q20	南房総市や観光協会が主催する、観光に関するワークショップやセミナーに参加したいですか	はい 67	いいえ 52	回答なし 4									
Q21	あなたの性別を教えてください	男性 66	女性 50	回答しない 7	回答なし 0								
Q22	あなたの年代を教えてください	19歳以下 1	20～39歳 10	40～59歳 68	60～74歳 34	75歳以上 4	回答しない 5	回答なし 1					
Q23	南房総市に住んでいる・働いている・両方	住んでいる 66	働いている 25	両方 31	回答なし 1								
Q24	いつから住んで・または働いていますか	出身～現在までずっと南房総 31	Uターン 40	移住 28	二拠点居住 9	転勤による一時的な居住 5	配偶者の地元に戻って来るタイプの移住 8	回答なし 2					
Q25	あなたの主たる職業を教えてください	無職 4	製造業 5	上記以外のサービス業 24	観光宿泊関係 43	医療福祉関係 5	学生 1	農林水産業 6	飲食業 12	公務員団体職員 11	小売業 9	運輸建設業 1	回答なし 2
Q26	現在南房総に住むこと、または仕事をすることに、満足していますか	非常に満足している 35	やや満足している 50	どちらでもない 28	あまり満足していない 3	全く満足していない 7	回答なし 0						
Q27	今後も南房総に住み続けたい、または仕事を続けたいですか	非常にそう思う 55	ややそう思う 41	どちらでもない 18	あまりそう思わない 4	全くそう思わない 5	回答なし 0						

No.	Q12 観光客にこうしたらもっと喜んでもらえると思う案がありますか	年齢	性別
1	車の運転をもっと優しくしてほしい	19歳以下	女性
2	「何が出来るか」をわかりやすく。例えば、都心から車で2時間で〇〇なレジャーがある、や〇〇な飲食店がある等	20～39歳	男性
3	この辺で遊べる所ありますか？ってよく聞かれるのですが、案内できるところがないので、施設を増やしてほしいです。	20～39歳	女性
4	シンボルのようなもの 勝浦タンタンメンのような地域で呼べる何か 時代にあった街づくり	20～39歳	男性
5	観光客の方から『夜間にタクシーが全く手配できず、宿に帰れない』と驚きと不安の声を頻りに耳にします。二次交通の脆弱さは観光満足度を大きく下げています。現在行われているライドシェアの周知を徹底するとともに、電車（1時間に1本）の到着時間に合わせた待機車両の確保や、夜間の移動手段をスマホ一つで確実に見つけられる仕組みを、市が主導してさらに強化していただきたいです	20～39歳	男性
6	景観の美化 海岸沿いの竹の伐採など	20～39歳	男性
7	目玉となる体験型の観光地や映えスポットを作る。大房岬の国立公園に木製のジャングルジムやツリーハウスを作る。大房岬の国立公園をセグウェイで走れる。巨大ドッグランがある。	20～39歳	回答しない
8	林道の整備、登山道近くにコインシャワーが無いのは機会損失	20～39歳	男性
9	・駐車場整備 ・自然資源以外の文化的体験学習の機会（場） ・移住などをもう少し一歩踏み込んで検討できるように必要な情報（仕事、住まい）	40～59歳	男性
10	・南房総といえばここ、というわかりやすいスポットを複数作って、下調べして来なくても、流れで数カ所巡れるような人流づくり。 ・写真映えする撮影スポット（SNSなどで共有すれば羨ましいと感じてもらえるようなモニュメントなどが複数あるといいかも。ONJUKU のオブジェのような） ・エリアごとのマップやお店情報がどこにいても確認できるようなツールの整備（紙、ネット、案内ボードなど）	40～59歳	男性
11	「観光客」の定義を明確にする必要があり、新規なのか？リピーターなのか？で施策が変わる。両輪をやる必要があって、その理解を役所や、地域の方々などに、理解して頂く事が必要。	40～59歳	男性
12	21:00くらいまではお店が開いているといいと思う。19:00にはどこも閉まっている印象です。飲み屋じゃなくて、一見さんでも入りやすく、夜までゆっくり過ごしてもらえたら、と思います。	40～59歳	女性
13	2次交通の強化。	40～59歳	女性
14	ありきたりですが、箱物が必要	40～59歳	男性
15	まずは道路の安全性と景観のため除草をやって下さい！	40～59歳	男性
16	まず地域の方が幸せに暮らしていること。地域の方が誇りに思うこと	40～59歳	女性
17	みんながくつろげる公園の整備、街の中の景観を意識して、大きな看板などの廃止、街中にアートを散りばめ、歩くだけで楽しめる街並み創り。	40～59歳	男性
18	観光案内やマリンスポーツ等アトラクションの紹介をもっとすると思います。	40～59歳	男性
19	観光客のみならず住民の利便性が高まるデジタル施策（キャッシュレス決済、予約、案内などなど）	40～59歳	男性
20	観光客の喜びもそうですが、南房総在住者が幸せになる方が先。仕事出来る場所が多くなれば良い	40～59歳	女性
21	観光地での駐車場整備。有料でも整備され、サインやMAP掲示されていることが喜ばれる	40～59歳	男性
22	求めに添った的確な案内	40～59歳	女性
23	見やすくわかりやすい地図がほしい。飲食、観光、お土産販売の場所ごととか。	40～59歳	女性
24	交通機関があると動きが取れると思う。	40～59歳	女性
25	交通機関で来られる方は移動手段が限られている為、観光施設への移動などが大変だと思います。交通時間を含めた観光地の日帰りプランなどがあると思います。	40～59歳	女性
26	公共のトイレのきれいさ 道の駅など観光につながるお店の品揃えなどもっと充実させる	40～59歳	女性
27	今までの薄利多売の意識を、きてもらう側も、観光客も改めなければいけないと思う。	40～59歳	女性
28	採れたての野菜は観光客の皆様にとっても喜ばれるので、収穫を体験できてお土産ももらえると嬉しいと思う。	40～59歳	女性
29	祭りが増えたら嬉しい	40～59歳	男性
30	住民それぞれが、簡単な事で良いので観光の為に何が出来るかを考えてもらおうと良い	40～59歳	女性
31	商店主・農家・宿・コンビニ・カフェなど 日常で観光客と接する人を	40～59歳	女性
32	照明が少なく歩きづらい。あと、何が目的なのか分かりにくいまちづくりなので、明確に観光素材はこれだと地元民にも教えてほしい。	40～59歳	男性

No.	Q12 観光客にこうしたらもっと喜んでもらえると思う案がありますか	年齢	性別
33	詳しく観光マップがあると案内しやすいです	40～59歳	女性
34	衰退しつつある花畑の復活 インバウンド向けに、外国語の看板、説明書等	40～59歳	女性
35	地元の人とも交流してもらうこと。さまざまな体験をしてもらうこと。	40～59歳	女性
36	冬や雨の日に楽しめることを増やす。資料展示、ミニ水族館、温泉など	40～59歳	男性
37	内房地区海沿い・漁港での、日帰り入浴施設設置	40～59歳	男性
38	南房総の交通はとにかく不便 公共交通機関の脆弱性が観光に大きく響くと思う マイカー客ばかりでは、なかなか消費の増大につながりづらい面もあると思う	40～59歳	女性
39	南房総の良さの情報発信をもっと、上手に。	40～59歳	男性
40	日帰り入浴施設やレジャー施設、飲食店モールなどが有るともっと観光客の満足度が上がると思う。	40～59歳	女性
41	・交通の利便性向上（一次交通・二次交通共に） ・広域観光（安房地域）のDMO展開を進める。	60～74歳	男性
42	スペースを区切り、磯辺を観光の目玉にし、誰でも海の生き物を取っても良いとした取り組み。	60～74歳	女性
43	隠れた観光地の紹介	60～74歳	男性
44	雨天時でも観光できる場所はないかとよく聞かれる。	60～74歳	男性
45	海水浴客相手の畳だけの部屋の間取りを改めて、ゆったりくつろげる部屋へのリノベーション	60～74歳	男性
46	各地域の伝統文化や食事等を案内するボランティアガイドがいると良いのでは？	60～74歳	男性
47	観光名所を多くすること	60～74歳	男性
48	交通アクセスの利便性の向上（市内循環バス・観光周遊等） 地域資源を活用した体験型観光の強化	60～74歳	女性
49	若者むけの施策	60～74歳	男性
50	受け入れ姿勢にホスピタリティを。	60～74歳	女性
51	体験やボランティア活動を一緒に行う	60～74歳	女性
52	体験型ツーリズムが流行っているので、古民家ステイや漁師体験、農業体験、水産・農産加工体験、郷土芸能体験などが、交流や思い出に良いと思います。	60～74歳	女性
53	体験型観光での交流	60～74歳	男性
54	都内から千倉までの高速バスの増便。館山駅のタクシーの終了時間の深夜までの延長など。	60～74歳	男性
55	道路沿いの草刈りをして、きれいな感じを出したい。	60～74歳	女性
56	南房総の自然についての楽しみ方やポイントを教える。	60～74歳	女性
57	房州全域で使えるクーポン券。どこの町でもそのクーポンを示せば割引価格になり、最終日にはお土産ももらえる。もしくは次回用のプレゼント約束券（スマホに登録）。	60～74歳	女性
58	無し	60～74歳	男性
59	目玉となるもの、これだけは県内一番というもの。	60～74歳	男性
60	掲示物及び施設案内	75歳以上	男性
61	千葉県で一番古い美術館であり、数ある県内美術館で一番行きたい美術館と集英社の「この一点への旅」で紹介されているので、もっと宣伝に力を入れて欲しい。	75歳以上	男性
62	地元民と交流できたら良い。	75歳以上	男性

No.	Q14 伝統行事、文化伝承が必要だと思う方は実現するにあたって具体的な案があれば教えてください	年代	性別
1	「楽しさ」「誇り」「継承の意思」の意識を盛り上げる	20～39歳	回答しない
2	鎖国	20～39歳	男性
3	地域外の方も含めて、伝統や文化に興味のある方向けに教室などを開く	20～39歳	男性
4	年配の方はこだわりが強いから、若い方(移住者)が入り込みにくい。時代に合わせて伝承の仕方、行事の進め方は変えるべきだと思います。	20～39歳	女性
5	文化を発信して、共感してくれる人を増やす。そのためには文化の魅力をとことん追求していくことが必要だと感じています。	20～39歳	男性
6	「昔からこうだから」を一度外す。移住者・若者・女性・観光客も参加可能に「責任」ではなく「役割」を渡す	40～59歳	女性
7	移住者なので余り参加していない	40～59歳	女性
8	映像やデータで資料を残す。口伝で伝わっていることや資料がないことがあると思う。資料として残しておけば途切れてもまた再開することが出来る。	40～59歳	男性
9	外部からボランティアを募り、行事の運営を手伝ってもらう	40～59歳	女性
10	外部の人も参加できる仕組み。たまたま宿泊しているときにお祭りに遭遇したとしても気軽に参加できるような参加型イベント	40～59歳	男性
11	観光客の体験など自治会以外の参加を促す	40～59歳	男性
12	義務教育中に子どもたちに伝えることから始めてはいかでしょうか。まずは地域の人たちが知ることが大切かなと思います。	40～59歳	女性
13	交通手段の充実	40～59歳	女性
14	高校を卒業してから都心に出て行った若者が、お祭りを楽しみに帰ってくる人もいるので、もっと若者が帰って来て地元で就職できる環境になれば不可能ではないと思う。	40～59歳	女性
15	最初に、誰のため、何のために伝統行事や文化伝承をするのかを明確にし、合意形成がなされた後に、具体的な案出しに着手することをお勧めしたい。	40～59歳	男性
16	祭りなどは集約し、今まで参加している人たちを中心に開催し、移住者や観光客にも参加してもらえるようにする	40～59歳	女性
17	市がもっと積極的に補助金を出してほしい	40～59歳	男性
18	若い世代の参加が必須。そのために、仕事の休みがとりやすい環境が必要。	40～59歳	女性
19	少子高齢化を改善する	40～59歳	女性
20	真夏の暑い時期の実施は限度があると思います。	40～59歳	男性
21	神輿の担ぎ手・祭りばやしの笛など 人の貸し借りをしているようです。それでも、だんだん難しくなっているのかもしれない。	40～59歳	女性
22	人口を増やす 移住者やUターンする人を増やすために、南房総市移住の際のメリットを増やすよう補助金等、市に尽力して頂きたく存じます	40～59歳	女性
23	人口減少している中昔と同じ伝承は難しいので簡素化、デジタル化して大切な物を無くさないように出来たらと思う。	40～59歳	女性
24	人口増加	40～59歳	男性
25	全てを残そうとせず、「残すもの」を絞る努力、知恵が必要だと思う。社会が人口減少超高齢社会に直面していることは、イベント実施者や、受入側も同様。これまで通りの経済、人口の「右肩上がり」の状況ではない事を理解し、コンセンサスをはかることが必要。	40～59歳	男性
26	他地域からの参加も受け入れられる体制づくりを考える。	40～59歳	女性
27	地域の祭りを「観光」「金儲け」の材料にせずに、残す議論をしてほしい。	40～59歳	女性
28	地域の中でその意義やルーツをしっかりと理解すること。	40～59歳	女性
29	地元の60代以下は縮小を望んでいるが、移住者であるわたしはお酌や女性排除の文化以外は継承したいと考えている。ボランティアには限界があり、継承の仕組みを作れるとよい。もう少し外向きの盛り上がるイベントにするなど。	40～59歳	女性
30	地元民はまとも役に徹し、観光客でも参加できるような仕組み作り	40～59歳	男性
31	伝統や伝承というものが地域に与える良い影響（治安の維持・経済効果）を地域の方に伝えて気づいてもらう	40～59歳	女性
32	伝統行事、文化伝承とその他の新たな取組のハイブリット	40～59歳	男性
33	伝統行事、文化伝承の情報発信。地元の人でも知らない人がたくさんいると思う。まずはどんな伝統行事、文化伝承が行われているかを発信する。	40～59歳	男性
34	伝統行事のルーツ、意味を知った上で行うことが必要。	40～59歳	男性
35	DMOが率先して継承する機会を設ける。	60～74歳	男性

No.	Q14 伝統行事、文化伝承が必要だと思う方は実現するにあたって具体的な案があれば教えてください	年代	性別
36	クラウドハンティング等の支援者	60～74歳	男性
37	どうしても地元のみ参加と言う意識が強いため、移住者などの参画に難があるように感じる。伝統行事とグルメイベント【イセエビやアワビ、サンガ焼き、地元産酒類等】などを併せたような企画を検討してもらいたい。	60～74歳	男性
38	域外の方の参加	60～74歳	女性
39	祭り等は、他地区の方の応援がこれからは更に、不可欠になるのではと思います。	60～74歳	男性
40	子供を作る、増やすことが最優先。	60～74歳	男性
41	若い衆が圧倒的に足りないので、他地域から手助けをお願いする。そしてあちらにも助けに行く互換体制。別荘住民やサーファーにも参加を促す。	60～74歳	女性
42	若い人が増えること。そして、学校で伝統文化を伝えること。	60～74歳	男性
43	若者の意見を聞く。若者の活動を盛り立てる。	60～74歳	女性
44	地域のファンを増やす施策を実施する。Enjoy房総の拡充	60～74歳	男性
45	地域の神社祭礼・海女文化（現在も継承されている）郷土芸能	60～74歳	女性
46	地元を離れた人にも参加していただく	60～74歳	女性
47	地元以外の人に門戸を開き、関係人口を巻き込んだ伝統行事の継続や文化継承ができればよいと思います。	60～74歳	女性
48	伝統行事文化継承は大事だと思います。多数の人が必要な場合はむつかしと思うけど、教室を開いて師匠から学ぶ（興味がある人が参加して学ぶ）のはどうでしょうか	60～74歳	女性
49	伝統文化の歴史を整理して、後継者を育成していく。（書面や映像など）	60～74歳	男性
50	何とか継続するように柔軟に対応する。海女祭りもボランティアがとても重要だと思う。	75歳以上	男性
51	古道と古道の周辺の文化の表現	75歳以上	男性
52	他の地域にも協力を要請し、お返しに協力する。	75歳以上	男性

No.	Q17 南房総市の観光施策について評価できる点は何か、ご意見があればご記入ください	年代	性別
1	観光に直結した仕事をしているので、観光協会が色々やっているのは少し知っていますが、なかなか周知されていない気がします。	20～39歳	女性
2	地域全体が一丸となって取り組める指針のようなものを作ってほしいです。	20～39歳	男性
3	恥ずかしながら詳しくないため回答できません	20～39歳	男性
4	釣り場の減少もっとしてほしい 釣り船だけで十分	20～39歳	女性
5	◇道の駅の充実 ◇地元の方々の日々の景観美化活動 ◇昔からあるものを大切に維持管理してきている様子	40～59歳	女性
6	1月に少年野球の大会があるのですがもう1つ大会が1月に欲しいです。	40～59歳	女性
7	Webやツール（マップやガイド）は整備されているとおもうが、それをSNSや広告で拡散するエリアプロモーション（オンライン・プレゼンス）が弱い気がする。SNS投稿やSNS広告、オンライン広告など。南房総のプロモーションを普段目にするのがないというのは実施されていないからか、頻度が少ないからなのか。	40～59歳	男性
8	WEB中心に情報がまとまっていること	40～59歳	男性
9	あまり何を推進しているかが分からない	40～59歳	女性
10	うまアジ。地域の資源をいろいろな食方で紹介する方法はもっと他の食材などを使って汎用性ある活動になると思います、そのきっかけづくりにはなっていると思います。	40～59歳	男性
11	スポーツイベント等で沢山のお客様が来られて南房総の魅力を感じて頂くことは多いのでこれからも引き続き誘致お願いします	40～59歳	女性
12	ちゃんとマーケティングなどをしてるのか甚だ疑問	40～59歳	女性
13	どういう意図でどのようなことをしているのかわからないので答えることができません	40～59歳	女性
14	なし。	40～59歳	女性
15	まずは、観光業に従事していない市民なので、観光施策で何をしているのかを知りたい。市民として協力できることがあれば参加していきたい。	40～59歳	女性
16	観光協会が衰退している花畑に花を植えた聞き、有り難く思っております	40～59歳	女性
17	観光資源を活かした誘客企画、隣接地域との協力。	40～59歳	女性
18	観光庁のDMOになったことをは、評価できる。	40～59歳	男性
19	市民参加型の施策は評価できるが、母数が少ないので拡大するための工夫が必要である。	40～59歳	男性
20	情報発信をしっかりしており、個人でも好感のもてる発信者が多いように感じる	40～59歳	女性
21	早朝の朝日から、夕焼けと海。魅力的ですが自然だけでは人の滞在時間(=金を落とす)は増やせないと思います。そこで過ごすこと、ハード面を整えば地元民でも行きたいと思います。	40～59歳	女性
22	地域事業者と連携しながら観光を支えようとする取り組みは、南房総らしい持続可能な観光の方向性だと思います。	40～59歳	女性
23	道の駅とみうらは現状に満足せずに積極的に策を打っていること	40～59歳	男性
24	特になし、自分だったらもっと世界に広める事が出来る	40～59歳	男性
25	派手な観光先がないにもかかわらず、環境や人、食、道の駅などの施設で、観光を成立させていること。	40～59歳	女性
26	豊かな自然、豊かな食材を生かした市政作りをお願いします。	40～59歳	男性
27	毎月朝市などの行事を継続しているところ めげずに諦めずに継続する事で必ず観光客は増加すると思う	40～59歳	男性
28	無料の施設が多い	40～59歳	女性
29	それぞれの地域に名所等でイベントが開催されている。	60～74歳	男性
30	なし	60～74歳	男性
31	ピーアール、インパクト不足	60～74歳	男性
32	マスコミにPRは出来ていると思う。	60～74歳	女性
33	ラジオでの南房総市の花摘みイチゴ狩りの宣伝など聞いてます。スタッフも若くなっているんな取り組みして頂きありがとうございます	60～74歳	女性
34	花畑の再生	60～74歳	男性
35	活動内容が周知されていない	60～74歳	男性
36	観光協会の方が親身に相談に乗ってくださる	60～74歳	女性

No.	Q17 南房総市の観光施策について評価できる点は何か、ご意見があればご記入ください	年代	性別
37	首都圏からのアクセスの良さ（アクアライン利用により近距離） 自然資源の活用（花畑等の保全）	60～74歳	女性
38	宿泊税導入の取組み	60～74歳	男性
39	色々な視点から取り組んでいる	60～74歳	男性
40	特になし	60～74歳	男性
41	結構情報は発信されていると思うが、一般市民の関心が低いと思う。	75歳以上	男性
42	道の駅はそこそこだが、観光とは次元が違う、今は白浜灯台だけになっている。	75歳以上	男性

No.	南房総市の観光施策について評価できない点は何か、ご意見があればご記入ください	年代	性別
1	飲食店と宿泊施設など、横の繋がりを持てる場をもっと作ってほしいです。	20～39歳	女性
2	観光施策としての進化と発展を感じない。高齢者の自己満足でしかない。次世代を担う若年層の意見をもっと聞き入れるべき。	20～39歳	回答しない
3	情報発信力	20～39歳	男性
4	恥ずかしながら詳しくないため回答できません	20～39歳	男性
5	しがらみや垣根をこえたコラボレーションの不足と農業などを使うこと	40～59歳	女性
6	じょうほうが届くような仕組みがありますかねえ？テレビは見ない、新聞は取ってないので広告も無い、房日も取ってない、仕事で平日は不在、公共の場、市役所公民館に行くこともない、日々の小さな暮らしだけではどこで何をやっているのか全く分かりません。せっかくなので知りたいです。	40～59歳	女性
7	花畑は重要な観光資源だと思っておりますので、衰退をそのままにしていること 南房総市は花農家に補助をしても良いのではないかと思います	40～59歳	女性
8	観光施策がわかってないので答えられない	40～59歳	女性
9	観光地として、街の景観がまったく整備されていない。	40～59歳	女性
10	現場の事業者や地域住民の声が、 施策に十分に反映されているかが見えにくく、人や日常の魅力が伝わりきっていない点は課題だと感じます。	40～59歳	女性
11	公衆トイレの清潔感	40～59歳	女性
12	自然そのままでも感動はするが、子供や若い人たちの気持ちが高まる、思い出にのこる、また来たいと思わせる仕掛けが何かしらあるといいかも。	40～59歳	男性
13	自然任せ	40～59歳	男性
14	自分の経営している飲食店や宿泊施設の儲けになることしか考えない方がいるのは残念。	40～59歳	女性
15	上記のDMOにはなったが、実態が伴っていない。役所の理解が得られているのか？疑問。	40～59歳	男性
16	情報発信力は弱い。ただし、立地のよさからメディアに取り上げられやすいのは幸運。	40～59歳	女性
17	積極性にかけている	40～59歳	男性
18	地域の人の「観光」への関心がまだまだ低い。	40～59歳	女性
19	駐車場整備と道路整備が後手に回っている点	40～59歳	男性
20	朝市以外にも、他の地域の人が出店等が出来る情報がほしい	40～59歳	男性
21	統計や理由が不明のまま、付け焼き刃な施策が多いイメージ 観光政策などをちゃんと学んできた人がやってるのか、とにかくいい話は聞こえてこない。	40～59歳	女性
22	道の駅の数が多いだけで、特徴・規模には欠ける。1日中過ごせる（滞在できる）、道の駅もしくは複合施設があればいいと思う。	40～59歳	男性
23	特に役所の人達に熱意が感じられないので前に進まないと思ってます	40～59歳	男性
24	南房総の海産物は集客の売りにできると思うので富楽里の漁協直営も道楽園と同様に活性化して欲しい。	40～59歳	女性
25	南房総市の形は歪なので、南房総市として、という文脈は観光客にとって必ずしも適切でない。館山と連動して動くべき。市、という単位で考えるのはこの半島南部のエリアでは適さない。	40～59歳	男性
26	南房総市自体の性質によるものだが、まんべんなく紹介しすぎると、地域としての特徴がわかりづらくなるので、選択と集中があるとよい。	40～59歳	男性
27	難しい・厳しい・できない と深く吟味する前に あきらめてしまっているような雰囲気	40～59歳	女性
28	保守的などころ	40～59歳	男性
29	路線バスが繋がり易くなると良いです。例えば、高速バスで富楽里で降車予定の観光客が乗り過ぎてしまった場合、（戻れると勘違いしている人もおり、乗り過ぎてはなくても、富楽里に行きたいという要望は多くある）道の駅枇杷倶楽部でタクシーを呼ぶしかなくなる。タクシーも台数が少ない為、なかなかつかまらない。電車も1時間1本で、さらに岩井駅からトミー号の時間も合わない方が多く、タクシーも乗れないので、館山航空隊→なむや行の路線バスが、道の駅富楽里とみやま行となってくれる事を望みます。	40～59歳	女性
30	・人事異動による戦力ダウン。 ・時代に対応した職員の能力が発揮されていない。	60～74歳	男性
31	いい海岸を海水浴場から 外したこと 共同トイレなどの 美観 多目的イベントの出来る広場 道路の整備 駐車場など	60～74歳	女性
32	これだけは負けないというものが無い。	60～74歳	男性
33	海岸を綺麗にする施策がない。浜の掃除ということではなく、景観全体のこと	60～74歳	男性
34	観光協会の構成員からのボトムアップの政策が皆無で、ほぼすべてがトップダウンに感じられる。	60～74歳	男性

No.	南房総市の観光施策について評価できない点は何か、ご意見があればご記入ください	年代	性別
35	観光資源の開発をしているがなかなか成果につながらない。	60～74歳	女性
36	個々の施策同士の繋がりが弱い。協力的じゃない。鷹の目で全体を見て実施して欲しい。	60～74歳	女性
37	公共交通の利便性不足 雨天時の観光施設不足（室内施設・全天候型施設） 滞在型観光が弱い（日帰り客が多い。アクアライン利用で比較的近距離の為）	60～74歳	女性
38	合併して地域が広くなり、内房と外房での地域性もあり、市としての統一性が感じられないかな？	60～74歳	男性
39	素晴らしい環境（特に海）を生かしきれていない。海＝夏の海水浴からアップデート出来ていない。（行政も）	60～74歳	男性
40	地域の人のマイナスな言葉	60～74歳	女性
41	都市部に近い条件を十分に活かせていない	60～74歳	男性
42	道の駅なども地産の野菜や魚類の販売等でこれといった目玉商品が無い。新しいジビエ料理や魚料理を試行錯誤してほしい	60～74歳	男性
43	勉強不足で観光協会のすべてを知ってないので評価できない観光施策わかりません	60～74歳	女性
44	和田地区の元朝桜の整備が十分でない。観光客は「良い所ね」と口々に褒めてくれていたが、菜の花畑もなくなり、桜は倒木や枯れが増え見る影もない。丸山地区ではせっかくの文化遺産であるシェイクスピアカントリーパークの移築した家々が壊れる寸前、誰も修理しようともしない。あれほどの資源を何故大切にしないのか。高名な音楽家も気に入られ、絶賛されているというのに。どちらもクラウドファンディングを行えばすぐに解決すると思う。	60～74歳	女性
45	ひとつひとつの事案が継続できていないように見える。	75歳以上	男性
46	旧態依然として発展に進めていない。	75歳以上	男性
47	美術館をもっと宣伝してください。	75歳以上	男性